

B：宮城県コース

杉松 孝志（1974・経営）

今回の当方区応援ツアーに参加させて頂き、被災された石巻の木村さんを始めとし、宮城県校友会の皆様や宮城交通のバスガイドさんの貴重な生の声を聞き、また車中では、今回のツアーに参加された皆様の様々なご意見を聞き、改めて昨年の東日本大震災とその復興について考えを新たにする絶好の機会となりました。

たった一日半の被災地見学・勉強会ではありましたが、充実したものとなりました。このツアーを企画して頂いた校友会と当日、司会進行された事務局の皆様にお礼申し上げます。

2日目の南三陸町防災対策庁舎の鉄骨だけとなった建物、周辺の基礎だけとなった家屋跡を見たときには、ここで多くの方が亡くなられ、また多くの方々が不自由な避難生活を送られている事を思うと胸が痛くなりました。現在は、支援・復興ということで、国民・国・地域自治体の注視を注がれています。

しかし、かつてのような生活、安らぎをいつ取り戻せるのだろうか。

真の復興には長い年月がかかるように思いました。小生も微力ながら長く応援していきたいと思えます。